

薄毛  
治療

皮膚  
トラブル  
改善

ストレス  
疲労回復

更年期  
症状の  
緩和

greentime

# プレミアム注射

所要時間：5分

★ヒト臍帯由来幹細胞培養上清液  
1~4A/回 皮下注射

## Q. プラセンタ注射との違いは何ですか？

A. 胎盤由来の「プラセンタ」と、臍の緒由来の「臍帯幹細胞培養上清」の違いについてお伝えします。

「プラセンタ」の原料は人間の胎盤です。

「プラセンタ」は製造過程で「胎盤」を酸による加水分解、加熱・高圧蒸気処理します。胎盤には数多くの成長因子が含まれていますが、この過程の加熱や酸処理で身体にとって有効成分である胎盤の幹細胞のもつ成長因子等は蛋白質が変性し、最終的に残っている活性成分はわずかとなります。

残っている加熱や酸で凝固したその他のアミノ酸、ペプチド、ビタミン、ミネラルなどの様々な「栄養素」がプラセンタの効果の源です。日本におけるプラセンタ治療は更年期障害や生理不順で効果を発揮してきました。しかし、更年期障害の治療で症状は改善しますが低下した女性ホルモンは再度上昇しませんでした。

培養上清液は、臍帯幹細胞を培養する際にこの細胞が周囲を活性化するために出す因子/シグナルといった成分のみを集めた製品になります。

臍帯の幹細胞が培養される際に放出した生理活性物質は、自分自身の老化した幹細胞に対してより有効な抗炎症や修復等の効果をもたらします。

培養上清液を更年期の症状でお困りの方が使用すると、自分自身の卵巣にある幹細胞を刺激する等の作用で女性ホルモン値まで上昇させ症状を改善させるケースがあると分かっています。女性に限らず、男性更年期LOH症候群のテストステロン（男性ホルモン）の低下した方でも上昇したという報告もあります。

「臍帯幹細胞培養上清液」では、活性のある成長因子とサイトカインの量、そしてエクソソームといった蛋白質が変性せずに含有されていることで効果が発揮されます。

私たち人間の身体は約37兆個の細胞で構成されていますが、細胞は絶えず新しい細胞に生まれ変わり、ケガ、病気、老化などで損なわれていきます。その損なわれた細胞を修復するのが幹細胞です。

臍帯培養上清液（臍帯の幹細胞から分泌される数千種類もの様々な生理活性物質 ...成長因子、サイトカイン、エクソソームなど）は、私たち自身の中にある、体を維持するために頑張っている自分の幹細胞を刺激し、幹細胞の活性をよくすることで組織の再生を促す効果があります。

プラセンタと臍帯培養上清液の両者は、胎盤・臍帯を使用しているという点で類似しています。

「上清液」は臍帯のもつ幹細胞の出す有効成分の「成長因子」や「エクソソーム」などを含んでおり、加熱処理する「プラセンタ」よりも生理活性物質がしっかり含有されているという理解ができます。

逆に、胎盤自体を処理していませんので、胎盤の持つ栄養素の成分は、プラセンタの方が多いでしょう。感染症のスクリーニングに関しては、プラセンタは事前の胎盤提供者の妊婦さんの感染症の有無の検査しております。また胎盤が加熱処理されることで感染症を除去しています。培養上清液は、胎盤提供者の妊婦さんの感染症の有無を、胎盤提供の前と後でスクリーニングしています。

どちらも感染症予防に対してはしっかりと対応していますので、安心してご利用いただけます。

「臍帯幹細胞培養上清液」は、今まで「プラセンタ」で得られていた効果をカバーしながら、若いころのカラダを取り戻すエイジングケアの効果を発揮するメリットの多い治療と考えます。両者の併用が推奨されています。

## Q.1回でも効果はありますか？

A. もちろん1回でも効果は認められています。しっかりした治療効果を出すためには3回以上の治療が推奨されています。2週間~1ヶ月間隔で3~5回を目安に10回（もしくは合計10A）を超えると特に効果の実感が大きく感じる方が多いです。